

エコアクション21 2023年度 環境経営レポート

取組対象期間：2023 年 4 月～2024 年 3 月



ビルの総合管理 

株式会社 **シンコー**

発行日：2024 年 5 月 22 日

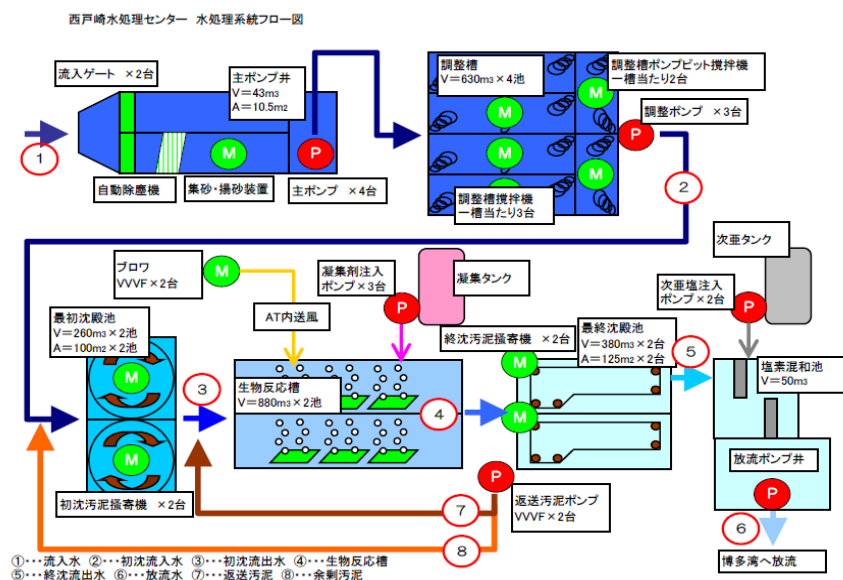
目 次

1. 組織の概要		p 1～p2
2. 認証・登録の対象範囲		p 2
3. EA21実施体制図		p 3
4. 環境経営方針		p 4
5. 環境経営目標		p 5
6. 環境経営目標の実績		p 6
7. 二酸化炭素排出量実績推移		p 7
8. 電気使用量実績推移		p 8
9. ガソリン使用量実績推移		p 9
10. 環境経営計画及びその取組結果とその評価 令和6年度 of 取組内容		p 10
11. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画 環境経営計画		p 11
12. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 の結果並びに違反、訴訟の有無		p 12
13. 代表者による全体評価と見直しの結果		p 12

1. 組織の概要

- | | |
|-------------------|--|
| 1) 事業所名 | 株式会社 シンコー |
| 代表者氏名 | 代表取締役社長 榎 本 澄 男 |
| 2) 所在地 | 本 社
〒810-0001 福岡市中央区天神4丁目7-17

西戸崎水処理センター
〒811-0321 福岡市東区大字西戸崎243-1 |
| 3) 環境管理責任者
連絡先 | 総務人事部 林 靖 広
TEL : 092-771-9515 (代表)
FAX : 092-714-3320
E-mail : hayashiys@kab-shinko.co.jp
URL : http://www.kab-shinko.co.jp |
| 4) 事業の内容 | 1. 総合ビルメンテナンス業務 (清掃管理・設備保守管理・警備業務・受付案内業務)
2. 下水処理施設運転保守業務 |
| 5) 指定管理受託内容 | 1. 指定管理施設名: 西戸崎水処理センター
2. 指定管理指定期間: 2023年4月1日～2024年3月31日
3. 指定管理内容: 機器の運転保守業務及び施設管理業務 |



- | | | |
|----------|--------------|-------------|
| 6) 事業の規模 | 法人設立年月日 | 1958年10月20日 |
| | 資本金 | 4,300万円 |
| | 従業員数 | 575人 |
| | 事業所の延べ床面積 | 380㎡ |
| | 事業年度 | 4月～翌年3月 |
| | 売上高 (2023年度) | 22億7,840万円 |

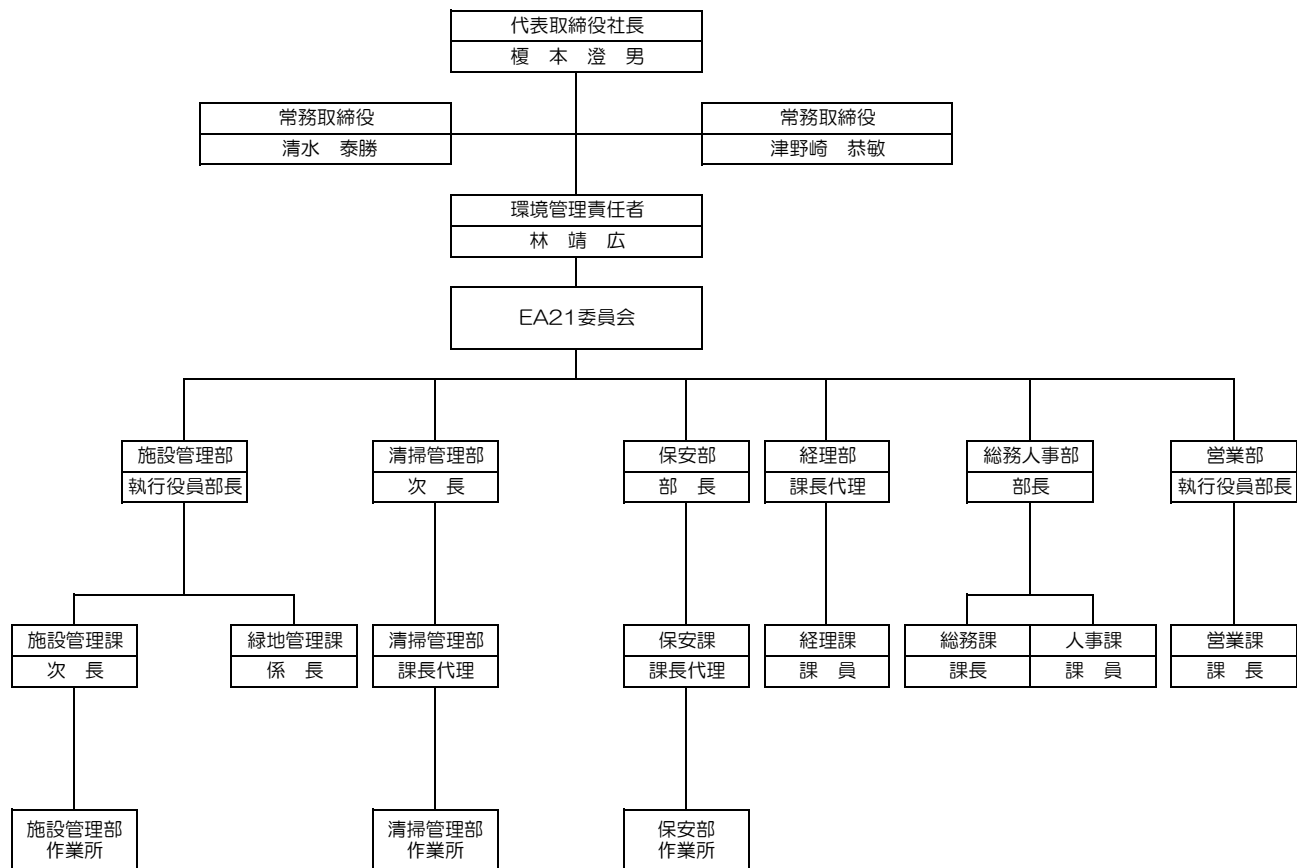
7) 事業登録及び有資格者

事業登録	建築物環境衛生総合管理業	福岡県 29 総 第29号
	建築物ねずみ昆虫等防除業	福岡県 29 ね 第92号
	建築物飲料水貯水槽清掃業	福岡県 29 貯 第223号
	警備業	福岡県公安委員会認定 68号
	点検部会登録証	福岡市消防設備士会認定 第40-1-1038号
	特定労働者派遣事業	厚生労働省 特40-010182
	一般電気工事業	福岡県知事許可 (般-29) 第97341号
	一般管工事業	福岡県知事許可 (般-29) 第97341号
	一般造園工事業	福岡県知事許可 (般-29) 第97341号
	一般消防施設工事業	福岡県知事許可 (般-29) 第97341号
有資格者	建築物環境衛生管理技術者	公害防止管理者(水質汚濁)
	ビルクリーニング技能者	建築設備検査資格者
	清掃作業監督者	下水道処理施設管理技士
	ねずみ・昆虫等防除作業監督者	下水道検定 3種
	貯水槽清掃作業監督者	酸素欠乏危険作業主任者
	浄化槽管理士	有機溶剤作業主任者
	第3種電気主任技術者	ゴンドラ取扱主任
	電気工事士(1種・2種)	警備員指導教育責任者
	ボイラ技士(1級・2級)	機械警備業務管理者
	冷凍保安技術者(第1種～3種)	常駐警備 2級
	危険物取扱者	造園施工管理技士(1級・2級)
	消防設備士(甲・乙種1～7類)	造園技能士
	消防設備点検資格者	不動産コンサルティング
	特殊建築物等調査資格者	

2. 認証・登録の対象範囲

- | | |
|----------|--|
| 1) 事業活動 | 総合ビルメンテナンス(清掃・設備管理・警備業務等)及び
下水道処理施設運転保守業務 |
| 2) 対象事業所 | 全事業所 |

3. EA21 実施体制図



EA21 役割分担表

所 属	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代 表 者	- 環境経営方針の制定、誓約及び従業員への周知 - 経営における課題とチャンスを明確にする - 環境管理責任者、EA21委員を任命する - 環境への取組を実施するための経営資源（人・もの・資金）を準備する - EA21全体の取組状況に関し評価し、見直しを実施する - 環境経営目標・環境経営計画・環境経営レポートを承認する
環境管理責任者	- EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し環境経営実績を向上させる - 環境経営目標、環境経営計画を作成する - 環境経営目標の達成状況、環境経営計画の実行状況を確認し、社長・社員に報告する - 環境経営方針以外の環境経営文書の制定・改定責任者 - 環境経営レポートを作成し、公表
EA21委員会	- 環境経営目標、環境経営計画の策定作業の補助 - EA21組織体として、定期的に進捗状況を把握し、取組に不都合等が発生していないかどうかを把握し、討議し、検討する - 環境経営活動の実績集計 - 環境負荷及び取組みの自己チェックの実施 - 全従業員に対する教育・指導の実施 - 環境経営システムに関して、社内で双方向でのコミュニケーションを図り、理解を深める - 社外からの環境に関する苦情や要望を受け、必要な対応と再発防止策を図る - 環境関連法規等の調整・取りまとめ及びチェックを行う
部 門 長	- 環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する - 環境経営目標達成のため、責任をもって自部門の環境経営活動を推進する - 自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する - 自部門に関連する法規制等を遵守する - 自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する - 自部門の教育・訓練を実施する
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を理解する - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加する

4. 環境経営方針

環境経営方針

基本理念

株式会社シンコーは建物の総合管理の会社として、建物内で仕事をされる方々ならびに利用される人々に快適な環境を提供すると共に、建物周辺の良い環境の維持と美化に努め、環境経営の継続的改善を行います。

また水処理部門では、下水路を介し流入した汚水を市条例で定められた水質基準以下に浄化し、博多湾の水質向上に貢献する責務と地球環境を考えて、日々の水処理活動を通じて環境保全に努めます。

基本方針

1、次の項目を重点項目として、継続的に取り組みます。

- ①電力、化石燃料等を効率的に使用し、二酸化炭素排出量を削減します。
- ②廃棄物の排出量を削減します。
- ③節水に努め、水の使用を削減します。
- ④化学薬品等の適正な管理に努めます。
- ⑤水環境の保全に貢献するため、良好な放流水質の維持に努めます。
- ⑥社会貢献の推進に努めます。

2、環境関連法規制等の遵守

当社の事業活動に関連ある法規、規格基準、自主管理基準を遵守し、環境保全に努めます。

3、社員への周知徹底

この環境方針を当社の全社員に周知徹底させるとともに、環境保全の重要性を認識させ、その実現に努めます。

制 定 日	2016年 8月 1日
改 訂 日	2023年 8月 1日
株 式 会 社	シ ン コ ー
代表取締役社長	榎 本 澄 男

5. 環境経営目標

①本社

項 目		単位	基準値	目標値			
			過去3年平均値	2024年度 (1.0%削減)	2025年度 (1.5%削減)	2026年度 (2.0%削減)	2027年度 (2.0%削減)
1. 二酸化炭素排出量の削減		kg-CO ₂	74,781	74,041	73,677	73,315	72,957
① 電気使用量の削減		kWh	41,503	41,092	40,890	40,689	40,491
② ガソリン使用量の削減		L	23,719	23,484	23,368	23,254	23,140
2. 廃棄物排出量の削減							
①一般廃棄物排出量の削減		kg	2,021	2,001	1,991	1,982	1,972
3. 水使用量の削減		m ³	142	140	140	139	138
6.	① 地球環境と地域行動の実践活動	-	ラブアースクリーン アップ クリーンアップ福岡	ラブアースクリーン アップ クリーンアップ福岡	ラブアースクリーン アップ クリーンアップ福岡	ラブアースクリーン アップ クリーンアップ福岡	ラブアースクリーン アップ クリーンアップ福岡
	② フードドライブ活動	-	フードドライブ活動	フードドライブ活動	フードドライブ活動	フードドライブ活動	フードドライブ活動

②西戸崎水処理センター

項 目		単位	基準値	目標値			
			過去3年平均値	2024年度 (1.0%削減)	2025年度 (1.5%削減)	2026年度 (2.0%削減)	2027年度 (2.0%削減)
1. 二酸化炭素排出量の削減		kg-CO ₂	1,919	1,900	1,891	1,882	1,873
① ガソリン使用量の削減		L	827	818	814	810	807
2. 廃棄物排出量の削減							
①一般廃棄物排出量の削減		kg	1,182	1,170	1,164	1,159	1,153
4. 化学物質の適正管理		-	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
5. 自主基準以下の水質維持		-	基準値以下	基準値以下	基準値以下	基準値以下	基準値以下

備 考

- 過去3年間の平均値を基準値として数値目標を策定した。
- 2024年度の二酸化炭素排出量の計算で使用した排出係数は、九州電力の2022年度の二酸化炭素調整後排出係数0.475kg-CO₂/kWhを使用した。
- 西戸崎の一般廃棄物削減目標は、2021年度は市職員の異動が大きく影響しているため、2022年度と2023年度の2年間の¹
- 産業廃棄物削減目標は、排出状況が定常ではないので設定していない。（廃蛍光管、廃油、廃シンナー）
- ①社屋周辺の清掃活動は中止し、2022年度より地球環境と地域行動の実践活動としてフードドライブ活動を開始。
また、2023年度より新たな活動としてラブアースクリーンアップとクリーンアップ福岡への活動参加を決定。
- 2023年3月に北九州営業所を廃止（事業所として存続）。2023年度以降のガソリン使用量の削減目標は本社計数に含める。
- 2024年度の目標値は、2021年～2023年の3年間の平均数値を基準として目標値を新たに算出。

6. 環境経営目標の実績

①本社

E A21を運用した2023年4月～2024年3月における本社の目標に対する実績は次の通り。

項 目		単位	2023年度 4月～3月の目標値	2023年度 4月～3月の実績値	目標達成 の判定
1. 二酸化炭素排出量の削減		kg-CO ₂	83,627以下 (月平均6,969)	64,886 (月平均5,407)	○ (122%)
① 電気使用量の削減		kWh	35,075以下 (月平均2,923)	40,074 (月平均3,340)	× (86%)
② ガソリン使用量の削減 本社		L	30,778以下 (月平均2,565)	21,959 (月平均1,830)	○ (129%)
2. 廃棄物排出量の削減					
①一般廃棄物排出量の削減		kg	2,247以下 (月平均187)	2,245 (月平均187)	○ (100%)
3. 水使用量の削減		m ³	133以下 (月平均11)	141 (月平均12)	× (94%)
6.	① ラブアースクリーンアップ 2023、クリーンアップ福岡	-	それぞれ年2回実施	2023年6月、10月 にそれぞれ実施	○
	② フードドライブ活動	-	4月、7月、10月、 1月の年4回実施	年4回実施	○

2023年度の二酸化炭素排出量の計算で使用した排出係数は、九州電力の2018年度の二酸化炭素調整後排出係数
0.347kg-CO₂/kWhを使用した。

電気使用量・水道使用量について、現場の人手不足の影響で、本社の人員増加および残業時間が増加したことにより目標より2023年度よりフードドライブ活動に加え、ラブアースクリーンアップ2023とクリーンアップ福岡の二つの活動を新たに追加し2023年6月と2023年10月にそれぞれ実施。

北九州営業所は2023年3月に廃止（北九州事業所として存続）。ガソリン使用量の削減目標は本社計数に含めている。

②西戸崎水処理センター

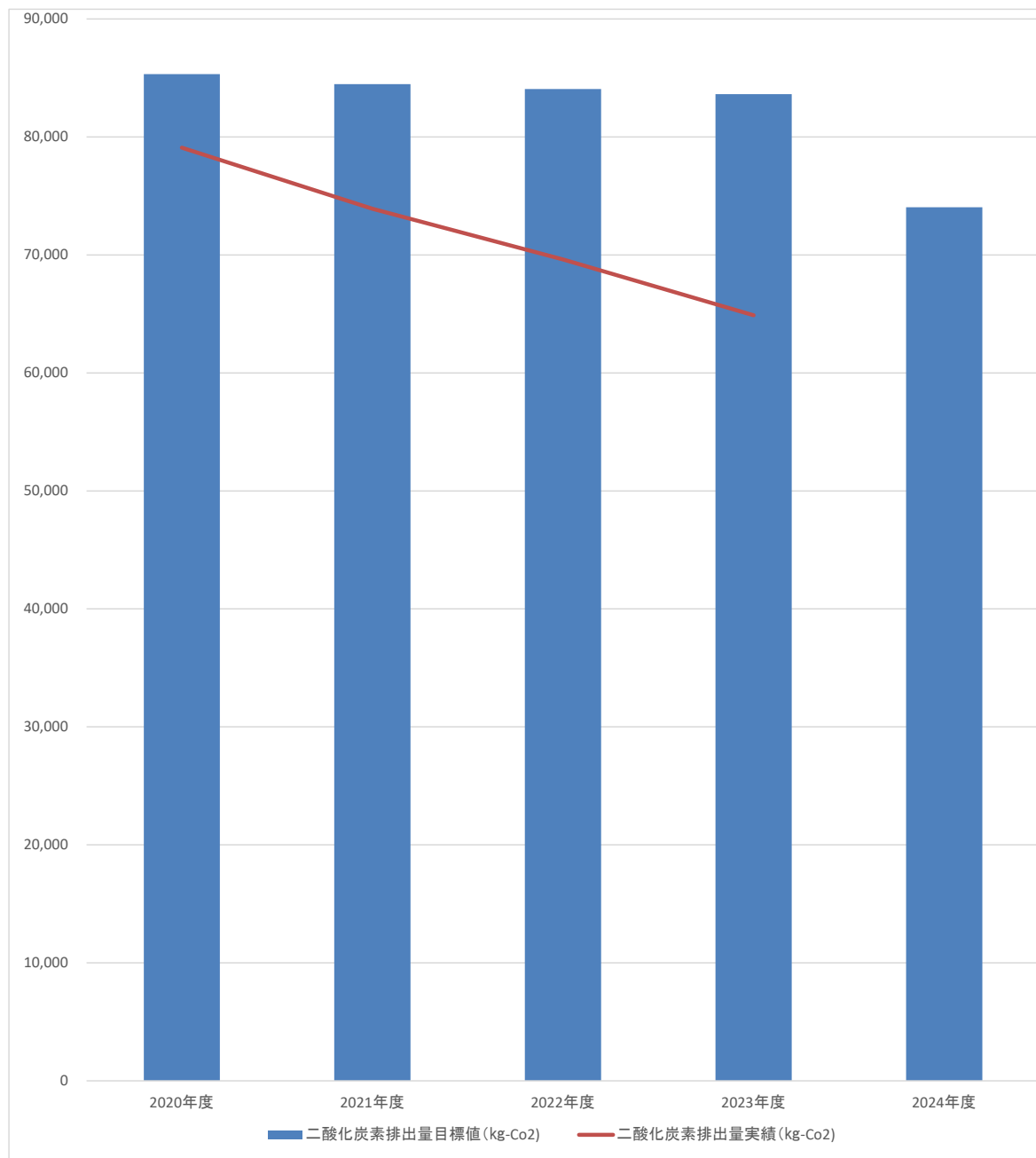
E A21を運用した2023年4月～2024年3月における西戸崎水処理センターの目標に対する実績は次の通り。

項 目		単位	2023年度 4月～3月の目標値	2023年度 4月～3月の実績値	目標達成 の判定
1. 二酸化炭素排出量の削減		kg-CO ₂	2,031以下 (月平均169)	1,881 (月平均157)	○ (107%)
① ガソリン使用量の削減		L	875以下 (月平均73)	810 (月平均68)	○ (107%)
2. 廃棄物排出量の削減					
①一般廃棄物排出量の削減		kg	1,383以下 (月平均115)	913 (月平均76)	○ (134%)
4. 化学物質の適正管理		—	適正管理に努めた		○
6. 自主基準以下の水質維持		—	処理水を自主基準以下で放流した		○

二酸化炭素はガソリンのみ（自社で管理可能分）を対象として計算した。

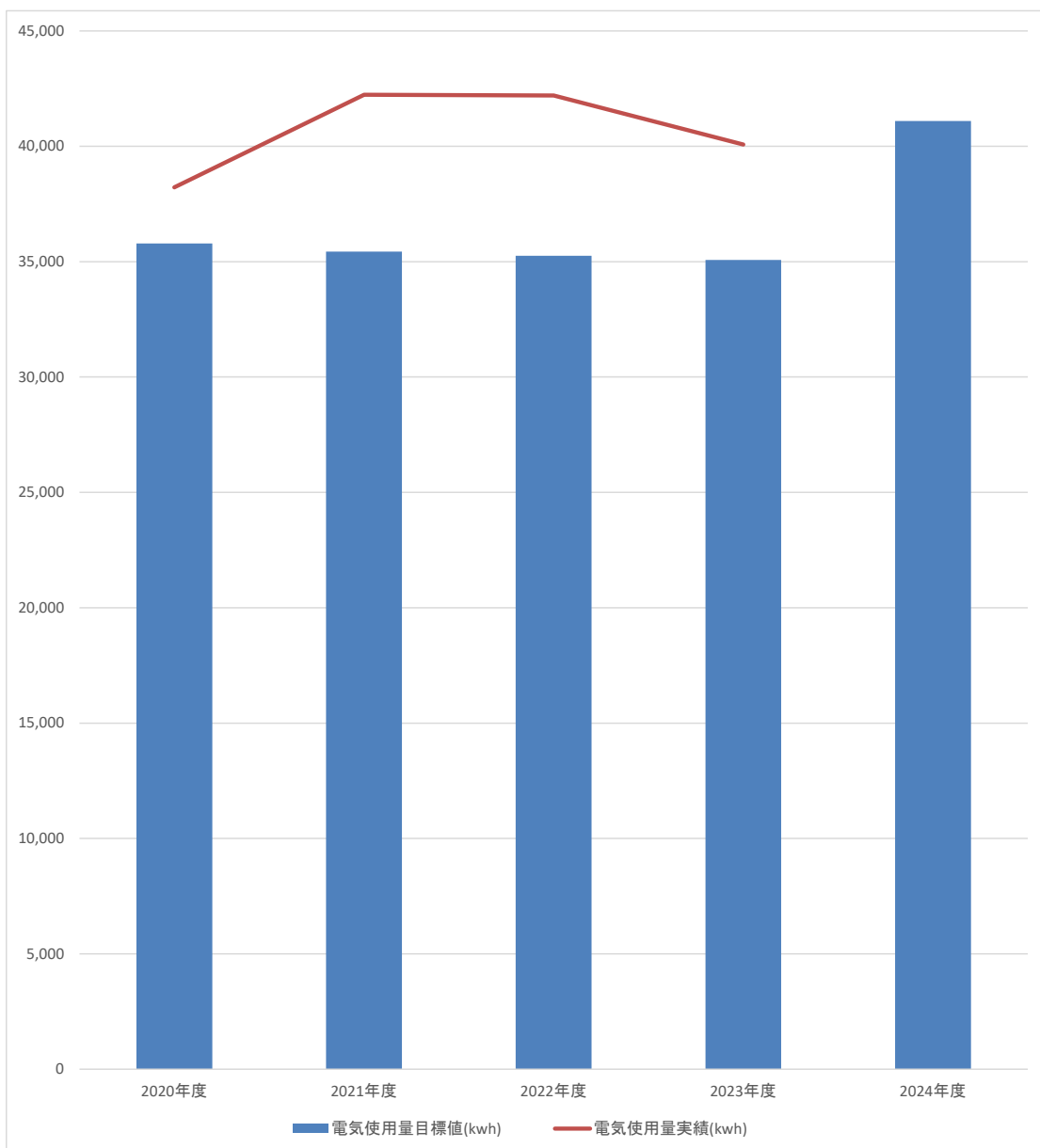
7. 二酸化炭素排出量実績推移

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量目標値(kg-CO ₂)	85,333	84,481	84,053	83,627	74,041
二酸化炭素排出量実績(kg-CO ₂)	79,092	73,909	69,612	64,886	



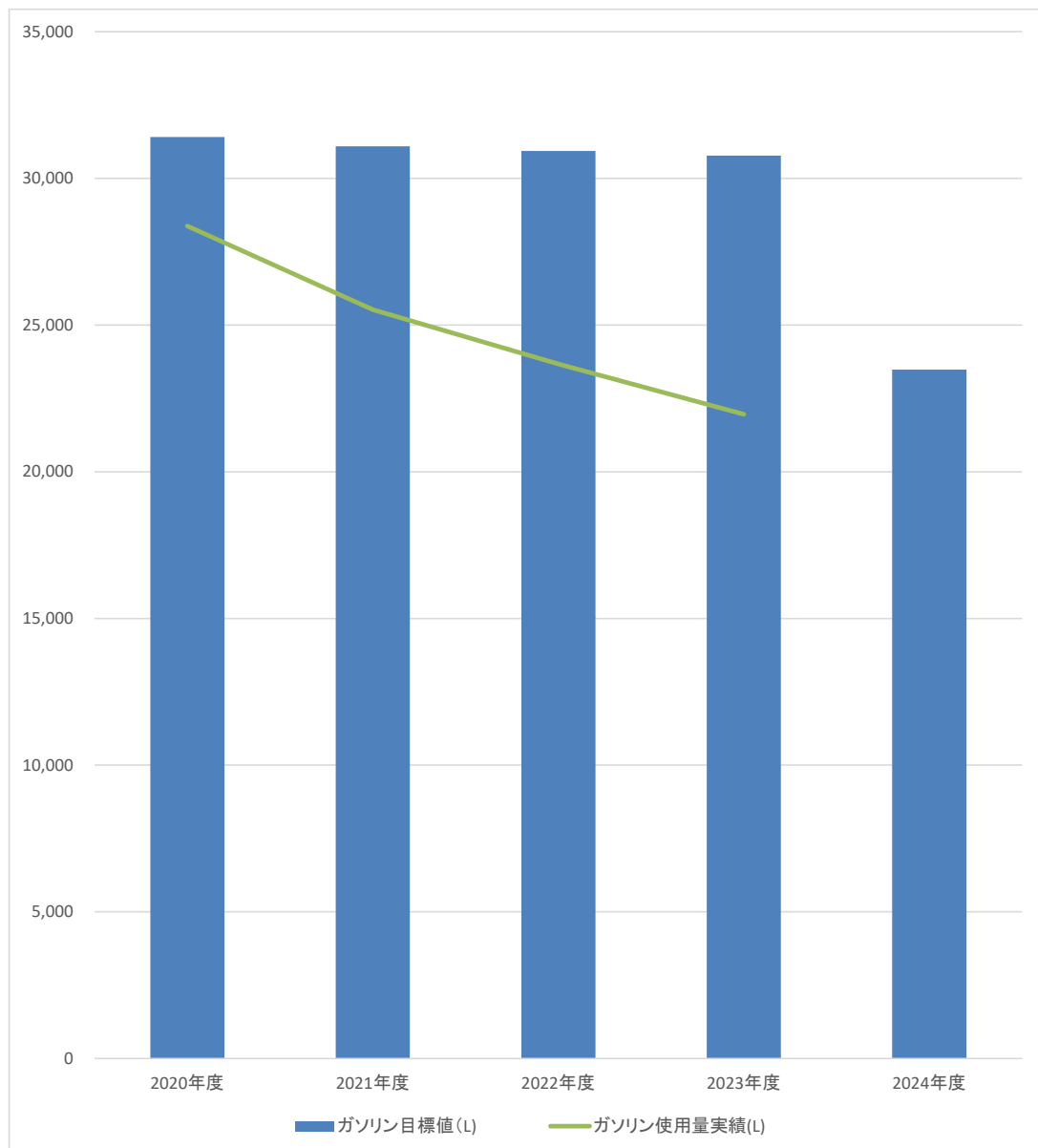
8. 電気使用量実績推移

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
電気使用量目標値(kwh)	35,791	35,433	35,254	35,075	41,092
電気使用量実績(kwh)	38,221	42,234	42,201	40,074	



9. ガソリン使用量実績推移

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
ガソリン目標値(L)	31,406	31,092	30,935	30,778	23,484
ガソリン使用量実績(L)	28,375	25,522	23,676	21,959	



10. 環境経営計画及びその取組結果とその評価、2024年度の取組内容

①本社

環境経営計画			実施状況	評価及び2024年度の取組内容	
1. 二酸化炭素排出量の削減					
1	過去3年の電気使用量平均値以下	①	エアコンの設定温度を決め、実施する	○	2023年4月～2024年3月の間、全て計画通り実施。 2024年度も①、②、③、④を継続して実施する。
		②	ウォームビズ、クールビズの実施	○	
		③	昼休みの消灯	○	
		④	不用な照明の消灯	○	
2	過去3年のガソリン使用量平均値以下	①	エコドライブの実施	○	2023年4月～2024年3月の間、①②③を計画通り実施。 2024年度も①、②、③を継続して実施する。
		②	効率的なルートで顧客・現場巡回	○	
		③	カーエアコンの適正な利用	○	
2. 廃棄物排出量の削減					
1	過去3年の一般廃棄物排出量平均値以下	①	外部からゴミを持ち込まない	○	2023年4月～2024年3月の間、全て計画通り実施。 2024年度も①、②を継続実施し、③として電子帳簿保存法の適正な対応を図る。
		②	コピー用紙の裏紙利用、両面コピー使用	○	
3. 水使用量の削減					
1	過去3年の水使用量平均値以下	①	節水意識を持って水使用の励行	○	本社社員の増加、また残業時間の増加により目標は未達となるが、業務運営上やむを得ないものと理解する。 2024年度も①、②を継続して実施する。
		②	陶器洗面ボウル下部蛇口の調整	△	
6. 社会貢献の推進					
1	地球環境と地域行動の実践活動	①	ラブアースクリーンアップ2023 クリーンアップ福岡	○	2023年6月にラブアースクリーンアップ2023、 2023年10月にクリーンアップ福岡の活動に参加。 2024年度も継続して実施する。
2	フードドライブ活動	①	フードドライブ活動（3ヶ月に1回開催）	○	2023年4月、7月、10月、2024年1月の合計4回 活動実施。 2024年度も継続して実施する。

②西戸崎水処理センター

環境経営計画			実施状況	評価及び2024年度の取組内容	
1. 二酸化炭素排出量の削減					
1	過去3年のガソリン使用量平均値以下	①	エコドライブの実施	○	2023年4月～2024年3月の間、①、②、③全て計画通り実施した。2024年度も①、②、③を継続して実施する。
		②	効率的なルートで顧客・現場巡回	○	
		③	カーエアコンの適正な利用	○	
2. 廃棄物排出量の削減					
1	過去3年の一般廃棄物排出量平均値以下	①	分別によるリサイクルの推進	○	2024年度も①、②、③を継続して実施する。また、新たな取り組みとして、④電子帳簿保存法の施行に合わせ、紙類を中心として削減を図る。
		②	外部からゴミを持ち込まない	△	
		③	コピー用紙の裏紙利用、両面コピー	○	
4. 化学物質の適正管理					
1	化学物質適正管理	①	化学薬品の適正な管理	○	2023年4月～2024年3月の間、全て計画通り実施した。2024年度も継続して実施する。
5. 自主基準以下の水質維持					
1	自主基準以下の水質維持	①	処理水の自主基準以下での放流	○	2023年4月～2024年3月の間、全て計画通り処理した。2024年度も継続して実施する。

11. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標は（5.環境経営目標）に記載している

環境経営計画は以下の通りである

環境経営計画

①本社

環境経営計画			
1. 二酸化炭素排出量の削減			
1	過去3年の電気使用量平均値以下	①	エアコンの設定温度を決め、実施する
		②	ウォームビズ、クールビズの実施
		③	昼休みの消灯
		④	不用な照明の消灯
2	過去3年のガソリン使用量平均値以下	①	エコドライブの実施
		②	効率的なルートで顧客・現場巡回
		③	カーエアコンの適正な利用
2. 廃棄物排出量の削減			
1	過去3年の一般廃棄物排出量平均値以下	①	外部からゴミを持ち込まない
		②	コピー用紙の裏紙利用、両面コピー使用
		③	電子帳簿保存法の適正な対応
3. 水使用量の削減			
1	過去3年の水使用量平均値以下	①	節水意識を持って水使用の励行
		②	陶器洗面ボウル下部蛇口の調整
6. 社会貢献の推進			
1	地球環境と地域行動の実践活動	①	ラブアースクリーンアップ2024
		②	クリーンアップ福岡
2	フードドライブ活動	①	フードドライブ活動（3ヶ月に1回開催）

②西戸崎水処理センター

環境経営計画			
1. 二酸化炭素排出量の削減			
1	過去3年のガソリン使用量平均値以下	①	エコドライブの実施
		②	効率的なルートで顧客・現場巡回
		③	カーエアコンの適正な利用
2. 廃棄物排出量の削減			
1	過去3年の一般廃棄物排出量平均値以下	①	分別によるリサイクルの推進
		②	外部からゴミを持ち込まない
		③	コピー用紙の裏紙利用、両面コピー
		④	電子帳簿保存法の適正な対応
4. 化学物質の適正管理			
1	化学物質適正管理	①	化学薬品の適正な管理
5. 自主基準以下の水質維持			
1	自主基準以下の水質維持	①	処理水の自主基準以下での放流

12. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動及びサービスに適用される環境関連法規等は次の通りである。

①本社

適用される法規等	適用される事項	遵守状況
廃棄物処理法：廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・廃棄物を分別し所定場所に保管 ・廃棄物の投棄禁止 ・廃棄物の焼却禁止（政令以外） ・建物の大掃除実施 ・その他	○
ビル衛生管理法施行規則：建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則	・日常清掃での除塵、状況により床維持剤の再塗布 ・カーペット清掃での除塵のほか、必要に応じジョット・クリーニング、しみ抜き実施 ・清掃機器、用具、機器保管庫の定期点検実施	○
家電リサイクル法：特定家庭用機器再商品化法	・テレビ、冷蔵庫庫、洗濯機、エアコンの長期使用、排出抑制	○
小型家電リサイクル法：使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律	・使用済小型電子機器（電話機・携帯端末等）の排出時、分別し引き渡し	○
自動車リサイクル法：使用済自動車の再資源化等に関する法律	・長期間使用し、使用済み自動車の抑制	○
フロン排出抑制法：フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	・第一種特定製品の3ヶ月に1回の簡易点検実施、点検及び整備に関する記録簿の作成	○

②西戸崎水処理センター

適用される法規等	適用される事項	遵守状況
水質汚濁防止法	・排水の排出の制限 ・排水の汚染状態の測定等 ・地下水の水質の浄化に係る措置命令等 ・事故時の措置 ・無過失責任	○
下水道法	・放流水の水質の基準 ・放流水の水質検査 ・終末処理場の維持管理 ・発生汚泥等の処理	○
悪臭防止法	・規制基準の遵守義務 ・悪臭が生ずる物の焼却禁止 ・事故時の処置	○
騒音規制法	・規制基準の遵守義務	○
振動規制法	・規制基準の遵守義務	○
毒物及び劇物取締法	・毒物又は劇物の取扱い ・毒物及び劇物の表示 ・事故の際の措置	○
消防法	・危険物の貯蔵等の取扱い通則 ・指定数量未満の危険物の貯蔵及び取扱いの技術上の基準 ・消火活動 ・貯蔵基準 ・危険物取扱者の選任	○
エネルギーの使用の合理化に関する法律	・エネルギーの使用の合理化に関する基準 ・目的、指導及び助言	○
PRTR法	・特定化学物質の環境への排出量の把握 ・排出量	○
大気汚染防止法	・事故時の措置 ・無過失責任 ・排出ガスの基準	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（産業廃棄物関係）	・産業廃棄物保管規準 ・産業廃棄物の保管の届出の対象となる産業廃棄物 ・産業廃棄物の処分を委託できる者 ・事業者の処理	○
フロン排出抑制法	・第一種特定製品の3ヶ月に1回の簡易点検実施、点検及び整備に関する記録簿の作成	○
家電リサイクル法	・テレビ・冷蔵庫庫・洗濯機・エアコンの長期使用、排出抑制	○

2023年度に上記の環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。

また、関係機関等からの指摘、利害関係者等からの訴訟もありませんでした。

2017年10月の法改正により、廃蛍光灯は水銀を含んでいるため、事業系一般廃棄物から産業廃棄物に変更されたため、処分する場合は取扱いに注意しています。

13. 代表者による全体評価と見直しの結果

2023年度は、電気・水道使用量について、本社の人員増加及び残業時間の増加の結果、目標未達となる。現場を含めた退職者の増加に伴う人手不足に対応したものであり、やむを得ないものと思料する。西戸崎事業所においては、全項目で目標を達成。社会貢献活動としては、フードドライブ活動を年間4回実施。新たな活動としてラプアースクリーンアップとクリーンアップ福岡の二つの地域貢献活動へも参加。また、審査員からの提案事項であった火災訓練についても初回の活動として、消火器の使用方法について訓練を実施した。さらに、改善事項も本資料に追加した。全体的に見て、2023年度のエコアクション21の活動としては、目標未達の項目はあるものの、新たな取り組み項目も取り入れ、十分評価できるものとする。また、P7の二酸化炭素排出量のグラフが示す通り、排出量は漸減傾向を示しており、EA21の活動の成果は確認できる。2024年度については、電子帳簿保存法の施行もあり、紙類を中心に廃棄物の削減に努めたいと考える。